

「電気接触現象とその表面・界面－接触機構デバイスの基礎と応用－」  
 正誤表(初版第1刷)

頁	行・式	誤	正
14	1	ゲティンゲン, ドイツ	ジョージア州, アメリカ
20	16	原子Cは	原子Cを
32	4	で与えられる	で決まる
36	表2.3(b)	室温(300K)	室温(300K, 27°C)
43	5	いくつかの例を取り, いくつかの合金の場合について説明する。	いくつかの合金の例を取り, 説明する。
47	6	電流がなめらかに	電流が障害を受けず
51	下から9	式(3.5)で示される楕円体の接触部を	短軸 $\alpha$ と長軸 $\beta$ で示される楕円体の接触面を
57	下から10	ホルムは, 上述のように	3.1節で示したようにホルムは, 上述のような
80	図4.12	(図説のうえに右を追加)	上:整流性, 下:オーム性
91	下から1	したがって	それゆえ
114	8	抵抗である	抵抗となる
124	9	図6.8~6.12	図6.8~6.11
126	下から1	図6.13	図6.12
195	3	生じ, 斑点を	生じ, この斑点を
220	12	で行った。	で行われた。
222	下から7	酸化皮膜(ZnO)は	酸化皮膜(ZnO)の厚さは
223	1	せん断力で	せん断力が
239	下から2~ 1(3か所)	$T$	$\theta$